

注意

この情報は昨年度の入試情報です。

2011年9月入学

龍谷大学

帰国生徒特別入学試験要項

入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

龍谷大学は、建学の精神（浄土真宗の精神）に基づいて、「平等」、「自立」、「内省」、「感謝」、「平和」の意味を深く理解し、豊かな人間性と共生（ともいき）の精神を涵養するとともに、人間教育、教養教育、専門教育を通じて、「広い学識」と「進取の精神」を持って人類社会に貢献する人間を育成することを「教育にかかる基本方針」として掲げています。この基本方針に基づき、次の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を掲げています。

龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、価値観が多様化する社会において、本学の建学の精神を体現するための意欲と各学部での教育に必要な適性を有した学生を、幅広く受け入れることを基本とします。

各学部は、龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）のもと、各学部それぞれの学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針に基づき、各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を定めるとともに、各入学試験を設定しています。

■各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

○経済学部

経済学部では、21世紀初頭において日本と世界の経済が大きな転換期を迎えるなかで、経済のグローバル化、情報化、地域経済の役割の増大などといった現代社会が直面する課題に対応できるような人の育成を目指しています。そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 社会に対する幅広い関心を持ち、主体的に学修できる人
- 2) 様々なツールを用いて、自己を豊かに表現する能力をもった人
- 3) 新たな問題を発見し、その解決に自ら進んで取り組む人

ついては、高等学校等での学習では、経済学部で教育を受けるうえで必要な幅広い教科の内容をしっかりと勉強することを望みます。

○国際文化学部

国際文化学部では、自己の文化への理解を基軸としながら、異文化を理解し、かつ尊重し、多様な国際的コミュニケーションのできる能力と人格をそなえた人材の育成を目指しています。外国語運用能力の向上を図るとともに、国際文化の専門領域を国際共生、芸術・メディア、地域文化、言語・教育など様々な視点からとらえ学習を深めます。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 国際社会の発展に貢献したいという明確な目的意識をもった人
- 2) 学部の教育理念を理解し、自身が興味関心の高い国・民族・文化などの専門領域を積極的に学んでいこうとする勉学意欲の高い人
- 3) 外国語の能力が高く、さらに力をつけたい人

ついては、高等学校等での学習では、入学までに必要な基礎学力として、様々なコミュニケーションを行う上での基本ツールとなる英語、国語を中心として、国際文化を学ぶ上で基本となる地理・歴史等、社会や文化に関連する科目を幅広く勉強し、併せて日頃から国内外の社会の動向に関心を持つことを望みます。

募集学部・学科・募集人員

募集学部	募集学科	募集人員
経済学部	現代経済学科・国際経済学科※	若干名
国際文化学部	国際文化学科	30名（外国人留学生・中国引揚者等子女含む）

※経済学部では学部一括入試として試験を実施します。このため現代経済学科・国際経済学科の出願時の選択はありません。

出願資格

保護者の海外勤務、その他の事情により外国の学校教育を受け、2009年10月1日以降に帰国し、次の(1)から(5)のいずれかに該当する者。

- (1)外国の高等学校において、最終学年を含め2学年以上在学し、外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育を含む）を2009年10月1日以降に卒業（修了）した者および2011年9月卒業（修了）見込みの者。
- (2)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格またはこれに準ずる資格を取得した者で、2011年9月30日までに18歳に達する者。
- (3)日本の高等学校もしくは中等教育学校を2011年9月卒業見込みの者で次のいずれかに該当する者。
 - ①外国の高等学校に2学年以上在学した者。
 - ②外国の中学校・高等学校を通じて3学年以上在学した者。
- (4)外国において正規の教育制度に基づく教育を受け、帰国生徒の受け入れを主たる目的として設置された高等学校（財団法人海外子女教育振興財団A1群高等学校）に編入した者で、2011年9月卒業見込みの者。
- (5)その他、上記(1)および(2)と同等以上の資格を有すると認められる者。

注1. 外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学した者については、その期間は、外国の学校教育を受けたものとはみなされません。

2. 外国の学校教育において「飛び級」または「繰り上げ卒業」により通常の12年の課程を満たさずして卒業した者については、審査の上、出願を認めることがあります。

出願期間

2011年5月25日(水)～2011年5月31日(火)〈締切日必着〉

出願書類

1. 出願シート（本学所定用紙）
2. 高等学校の卒業（見込み）証明書
3. 高等学校の成績証明書
複数の高等学校に在学した場合は、すべての高等学校での成績証明書を提出してください。
日本の高等学校卒業（見込み）者は、出身高等学校長が作成した調査書も提出してください。
4. 学歴記入シート（本学所定用紙）
記入欄が不足する場合は、別紙に記入し添付してください。
5. 健康診断書（本学所定用紙）
国外居住者のみ提出してください。
胸部X線検査は、撮影年月日が出願前6ヵ月以内のものに限ります。
6. 国際バカロレア資格取得者は、資格証明書の写しと成績証明書を提出してください。
7. 外国において、その国の教育制度による統一試験等を受験した場合、その試験の成績（評価）証明書を提出してください。
8. 「飛び級」「繰り上げ卒業」の場合は、その証明書を提出してください。

注1. いったん提出された出願書類は返却いたしません。

2. 上記の提出書類の他に、本学が必要と判断した場合は、書類の提出を求めることがあります。
3. 日本語、英語、中国語以外の言語で発行された証明書を提出する場合は、証明書の内容を英語または日本語に訳した書類及び政府機関等が翻訳内容を正式と認めた証明書を併せて提出してください。
4. 上記2. 高等学校の卒業（見込み）証明書および3. 高等学校の成績証明書について中華人民共和国の高等学校の卒業（見込み）の者は、証明書を政府機関等が正式なものと認めた公証書を提出してください。
5. 証明書のコピーは一切不可です。

出願書類送付先

〒604-8799 日本郵便中京支店留 「龍谷大学入学試験願書受付センター」宛〈郵送に限ります。〉
※本学所定の封筒にて、簡易書留・速達で郵送してください。

受験料・納入方法

受験料 35,000円

1. 出願シートの振込依頼書に記入の上、金融機関（銀行等）窓口にて出願期間内に納入してください。
取扱金融機関収納印をもって納入とみなします。受験料領収書は本人控えです。
2. いったん納入された受験料は、受験意思の表明とみなし、返還いたしません。

試験日・試験会場・試験科目・試験時間・合否判定

第1次審査（受験資格審査）

出願書類により、出願者の受験資格の有無を審査します。

受験資格を有すると判定された者には、受験票を郵送します。

受験資格無しと判定された者には、その結果を通知します。

受験資格の審査結果を通知する時期は、試験日の約7日前です。

第1次審査で受験資格を有すると判定された者のみ、第2次審査を受験することができます。

第2次審査

(1)試験日・試験会場

学 部	試 験 日	試 験 会 場
経 済 学 部	2011年6月18日(土)	深草キャンパス（京都市伏見区深草塚本町67）
国 際 文 化 学 部		瀬田キャンパス（大津市瀬田大江町横谷1-5）

(2)試験科目・試験時間

学 部	説 明	小 論 文	面 接
経 済 学 部	10：10～10：30	10：30～11：30	12：30～
国 際 文 化 学 部			

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

(3)合否判定

出願書類、小論文、面接を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、結果は通知しません。

合 格 発 表

2011年7月1日(金)付で本人宛に特定記録・速達で通知します。
合否結果に関する電話での問い合わせには一切応じられません。

入 学 手 続

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類や手続方法を通知します。
所定の期日までに入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

入学手続Ⅰ 下記期間内に、入学申込金200,000円を納入してください。

手続期間 2011年7月1日(金)～2011年7月7日(木)

入学手続Ⅱ 下記期間内に、入学時納入金と入学申込金との差額を納入してください。期間内に納入が完了しない場合は、入学を辞退したものとします。

手続期間 2011年8月24日(水)～2011年8月30日(火)

注1. 学費・諸会費については、4ページを参照してください。

2. 入学手続の詳細については、合格通知書送付の際通知します。

3. 納入された入学申込金は返還いたしません。その他の納入金の返還については、4ページの「授業料等返還制度」を参照してください。

授業料等返還制度

全ての入学手続完了後、入学を辞退される場合は、**2011年9月15日(木)15:00まで(提出書類必着)**に下記の要領で手続をしてください。所定の手続を完了されると、入学申込金を除く入学時納入金を返還いたします。

1. 提出書類

「入学辞退届・授業料等返還願」(本学所定用紙=合格者に発送する「入学ハンドブック」に綴じ込み)

2. 受付番号取得

所定用紙提出前に、入試部に電話をして、受付番号を取得し、書類の所定の場所にその番号を記入してください。受付番号の記入していない書類は受理しません。

3. 提出先

龍谷大学入試部(深草キャンパス)

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 TEL:075-645-7887(ダイヤルイン)

*大宮、瀬田キャンパスでは受付をしていません。

4. 提出方法

郵送の場合は、**2011年9月15日(木)15:00まで**に到着するよう簡易書留・速達で送付してください。

持参の場合は、**2011年9月15日(木)15:00まで**に提出してください。

5. 備考

「入学辞退届・授業料等返還願」を郵送された方には、到着後1~2週間程度で、受理通知を保証人宛に送付します。授業料等の返還金は、2011年9月末日までに金融機関の指定口座に振り込みます。

学 費 等

2011年度9月入学生の学費・諸会費等の入学時納入金は、次のとおりです。

(単位:円)

学 部		経 済 学 部	国 際 文 化 学 部
学 費	入 学 金 ※1	200,000	200,000
	授業料(後期分)	365,500	365,500
	施設費(後期分) ※2	25,000	25,000
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	2,000
	学 会 費	1,500	2,000
	学 友 会 入 会 金	4,500	4,500
	学 友 会 費	1,500	1,500
	親 和 会 入 会 金	3,000	3,000
	親 和 会 費	3,500	3,500
	校 友 会 予 納 金	10,000	10,000
合計(入学時納入金)		616,500	617,000

※1. 入学金は入学年度のみ納入していただきます。

※2. 施設費は、年間250,000円ですが、入学時の学費負担軽減を図るため、第1年次(1年目)については、年間200,000円を減免しています。

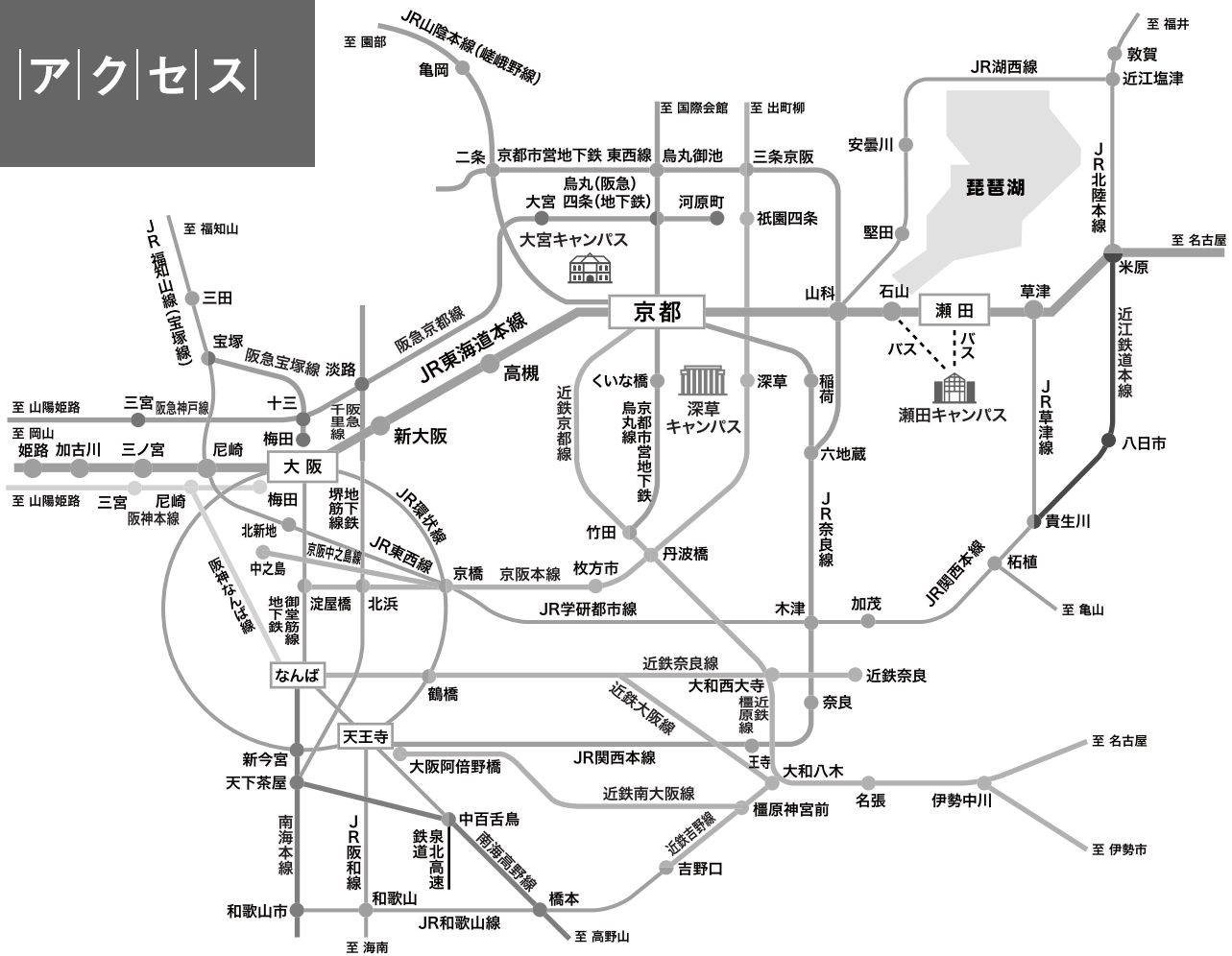
個人情報取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や可否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用するものです。また、入学試験合格者の氏名・住所は、各学部学会、龍谷大学親和会(保護者会)、龍谷大学校友会(在学生自治会)、龍谷大学校友会(同窓会組織)と共同利用します。以上の4組織以外の第三者に、本人の同意を得ることなく個人情報を提供することはありません。

※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<http://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

アクセス



龍谷大学までの経路検索はこちら▶

龍谷大学 経路検索

検索



大宮キャンパス
Omiya



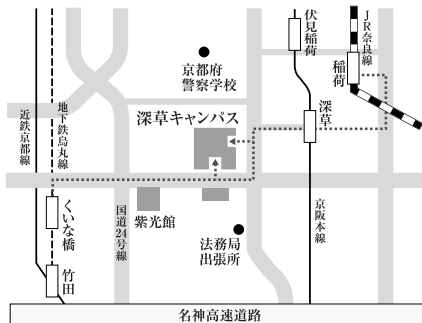
深草キャンパス
Fukakusa



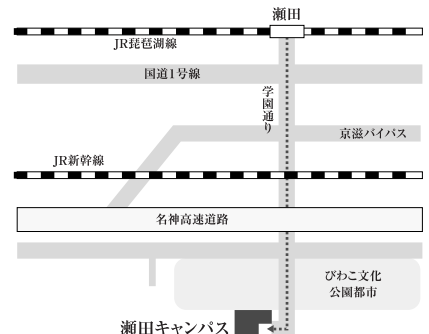
瀬田キャンパス
Seta



- JR東海道本線・近鉄京都線「京都」駅下車
北西へ徒歩約10分(市バス約3分)
- 京阪本線「七条」駅下車、西へ徒歩約20分
- 阪急京都線「大宮」駅下車
南へ徒歩約20分(市バス約5分)



- JR奈良線「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
- 京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約3分
- 京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車
東へ徒歩約7分



- JR琵琶湖線「瀬田」駅下車、帝産バス約8分



〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
TEL:075-645-7887(入試部ダイヤルイン)
FAX:075-645-4155

<http://www.ryukoku.ac.jp/>

大宮キャンパス

文学部 / 真宗学科、仏教学科、哲学科(哲学専攻・教育学専攻)、史学科(国史学専攻・東洋史学専攻・仏教史学専攻)、日本語日本文学科、英語英米文学科

深草キャンパス

文学部 / 真宗学科、仏教学科、哲学科(哲学専攻・教育学専攻)、史学科(国史学専攻・東洋史学専攻・仏教史学専攻)、日本語日本文学科、英語英米文学科

経済学部 / 現代経済学科、国際経済学科

経営学部 / 経営学科

法学部 / 法律学科

政策学部 / 政策学科

短期大学部 / 社会福祉学科、こども教育学科

瀬田キャンパス

理工学部 / 数理情報学科、電子情報学科、機械システム工学科、物質化学科、情報メディア学科、環境ソリューション工学科

社会学部 / 社会学科、コミュニティマネジメント学科、地域福祉学科、臨床福祉学科
国際文化学部 / 国際文化学科